

平成22年1月28日



左京区
伝統行事

ネットワーク

かわらばん

第9号 発行：左京区役所区民部総務課

左京区役所では、区内に数多く守り伝えられている伝統行事を将来にわたって保存・継承するとともに、その魅力を広く発信し観光振興に役立てるため、「左京に息づく伝統文化の保存・継承と観光振興」に取り組んでいます。この事業は、主に次の2つを柱に取組を進めています。

「左京区内の伝統行事の保存会等によるネットワーク会議」の開催

伝統行事の映像記録DVDやマップ等を活用した情報発信の充実

第11回「左京区内の伝統行事の保存会等によるネットワーク会議」の開催

ネットワーク会議では、左京区内の伝統行事の保存会等の皆様の連携・協力を進めるため、伝統行事の保存・継承するに当たっての課題等について情報交換を行っています。

日時：平成21年12月8日（火）

午後2時～3時30分

場所：左京区役所 第2会議室

内容：講演「祭礼を支える人々」・意見交換

参加：14団体21名

一乗寺八大神社剣鉾保存会、一乗寺郷土芸能保存会、市原ハモハニ講中、石座神社奉賛会、大原伝統文化を守る会、上高野念仏供養踊保存会、北白川伝統文化保存会、久多花笠踊保存会、久多山の神・お弓保存会、鞍馬火祭保存会、松ヶ崎妙法保存会、松ヶ崎題目踊・さし踊保存会、八瀬郷土文化保存会、吉田剣鉾保存会

講演「祭礼を支える人々」 京都造形芸術大学 准教授 すえまつ たけし 末松 剛 さん

- 京都造形芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センターでは、今年度、左京区役所の委託を受けて、祭礼の担い手に着目し、一乗寺、岩倉、大原、静市、久多の儀礼や祭礼を取材している。現在は調査結果の発表に向けて準備中であるが、本日は調査の一部を保存会等の皆様に報告したいと思う。
- 歴史遺産学の研究では、現在ある物の中に歴史を見出し、積極的に地域に行きつて現地の方と交流を図り、さらには歴史遺産をどのように遺し、受け継ぐかを提案していきたいと考えている。
- 一乗寺の御弓神事は、下座の最高位と上座の最下位が射手を務める宮座の行事である。この神事には平安時代の儀式書に載っているような独特の作法が見られ、さらには、一瞬息を呑むような演出が盛り込まれているなど、非常に興味深い行事である。
- 一年神主は督殿（このの）と呼ばれ、本来は神社の管理などの役目を担っていた。督殿の交代時には、大きな鍵を扇子にのせて次の督殿へ引き渡す儀式が行われ、本来の役目を象徴している。
- 久多花笠踊では三つの神社を花笠が巡礼するが、宮座の神主が神社を巡る際、神社ではなく、山に向って拝礼する様子が見られた。これは山の神への拝礼であり、自然崇拝に基づくものと思われる。また花笠踊の演目・曲目は、室町時代の風流を色濃く残しており、いつどういいう経緯で生まれたかを文献で確認することはできないが、今後もずっと引き継いでいってほしい。

裏面へ

○静原神社の本殿に、宮座の運営について皆で考え約束事を守るという証に連判で署名をした「誓約之事」という江戸末期の古文書が保存されている。宮座の運営を順に回していくこと、役を務める人に手当てを出すこと等の約束事が書かれている。現在でも宮座の運営には様々な御苦労があると思うが、こうした苦労が既に江戸時代からあったことがうかがえる貴重な文書である。

○剣鉾に垂らされる絹織物は大体「吹チリ」「吹チラシ」と言うが、鞍馬では「へれん」と呼ばれる。この由来は地域でもほとんど知られていなかったのだが、調べると、「非礼」という字が訛って「へれん」になったようである。こうした呼び名も地域の歴史であり、大切に伝えてほしい。



末松先生のプロフィール

京都造形芸術大学芸術学部歴史遺産学科准教授。京都の儀式・祭礼や平安時代の宮廷社会について研究。

○左京の祭礼には歴史的に貴重な生活文化がいくつも見受けられる。1つは太陰太陽暦や神仏習合などの「前近代の遺風」である。それが洛北において現代にも伝わっていることの歴史的な意味を大切にしていきたい。2つ目は、川、木、岩などを崇拝する「自然崇拜」。3つ目が神事の中での型や作法、演出などに込められた「神仏への畏敬の念」である。そして4つ目は「宮座の制度」である。新しい人が入ってくる中で非常に難しい部分もあるが、祭礼においては秩序が表象化された形で表れるものであり、例えば座の配置、服装の区別などは守っていただきたい。5つ目は洛北の大きな特徴である「公家社会・大寺社との関わり」。例えば、剣鉾などの祭具は公家や寺社からの賜り品であるのも多く、こうしたものをひとつの誇りとして祭礼が行われていた歴史を大切に伝えてほしい。

2月20日(土)に京都造形芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センターによる左京の伝統行事の調査報告会を行います。京都造形芸術大学で開催予定ですので、ぜひ御参加ください。

質疑応答 意見交換・情報交換

【末松先生】祭礼の伝承方法は、口伝によるものがほとんどであり、古文書などが遺されていないことも多い。祭礼を守ってきた方々にとっては、親がやっていたことを続けてきただけ、と思われるかもしれないが、伝承されてきたこと自体が素晴らしいことであり、誇りをもって伝えてほしい。

【久多花笠踊保存会、久多山の神・お弓保存会】地域の行事や神社について専門の方に調査してもらったところ、平安時代や鎌倉時代のものなど非常に価値があるものが出てきた。その他にも地域について知らないことがたくさんあるが、年配の方に教わるなどして勉強していきたい。

【八瀬郷土文化保存会】後継者不足は深刻な問題である。八瀬には一年神主の制度があり、すべての宮座を取り仕切っている。行事を守り伝えていくためには、こうした制度も必要である。

【久多花笠踊保存会、久多山の神・お弓保存会】今年から、ある町で若い者に行事を任せてみたところ、ぎこちなかったが、やる気が生まれてきた。親任せではなく、自分達が学ばなければと思ったようだ。

【末松先生】大原八朔踊では、踊りをビデオに撮り、歌を楽譜におこして小学生に教える取組を進めている。後継者育成のひとつの方法として感心した。また、若者の成育儀礼を復活させるのもいい方法だと思う。

【鞍馬火祭保存会】鞍馬火祭には成育儀礼であるチョッペンがあるが、最近では子どもが減っており、非常に苦労している。

【末松先生】左京区は、日本の歴史とっていいほどの生活文化の核が色濃く残っている素晴らしい地域である。こうした文化をぜひ大切に伝えていただきたい。

